



2026年3月期 第3四半期 決算短信補足資料

(2025年4月1日～2025年12月31日)

2026年2月6日

エバラ食品工業株式会社

第3四半期決算のポイント

売上高 : 39,556百万円 (前年同期比 3.6%増↑)

営業利益 : 2,988百万円 (前年同期比 12.8%増↑)

前年同期比で增收増益の着地

計画比では、売上は81.1%の進捗に対し、営業利益は計画値を上回る

增收要因

- ・食品事業の売上伸長
 - 家庭用商品における鍋物調味料、その他群の売上伸長
 - 業務用商品による売上伸長

増益要因

- ・增收による効果（価格改定の浸透）

連結業績

単位：百万円

前年同期比で增收増益
計画比は、利益が計画を大幅に超える

(百万円)	2024.12	2025.12	2024.12対比		2026.3計画対比 (2025年11月6日開示)		
			増減	計画	未達額	進捗率	
売上高	38,198	39,556	1,357	3.6%	48,800	9,243	81.1%
売上原価	24,660	25,628	968	3.9%			
	64.6%	64.8%	0.2pt	—			
売上総利益	13,538	13,927	389	2.9%			
	35.4%	35.2%	▲0.2pt	—			
販管費	10,890	10,939	49	0.5%			
	28.5%	27.7%	▲0.9pt	—			
営業利益	2,648	2,988	339	12.8%	1,700	▲1,288	175.8%
	6.9%	7.6%	0.6pt	—			
EBITDA※	3,692	4,253	561	15.2%			
経常利益	2,820	3,204	383	13.6%	1,900	▲1,304	168.6%
	7.4%	8.1%	0.7pt	—			
特別利益	7	547	540	7,713.3%			
特別損失	5	420	415	7,464.5%			
四半期純利益	1,918	2,234	316	16.5%	1,300	▲934	171.9%
	5.0%	5.6%	0.6pt	—			

通期業績予想の修正について (2026年2月6日決算発表と同時開示) 単位：百万円

第3四半期までの実績と足元の動向を鑑み、通期業績予想を上方修正

	前回発表予想 (A) 2025年11月6日開示	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)
売上高	48,800	49,600	800	1.6
営業利益	1,700	2,200	500	29.4
経常利益	1,900	2,500	600	31.6
当期純利益	1,300	1,700	400	30.8

(修正の理由)

- ・家庭用商品の鍋物調味料群等の貢献に加え、業務用商品の伸長もあり、売上が計画を上回る
- ・第4四半期の販売動向や投下費用を加味した結果、利益面も業績予想を超過

営業利益 増減分析(前年同期比)

単位：百万円

売上原価率はほぼ横ばい、売上高の増加が増益の主要因

増益要因
減益要因

4,500

3,500

2,500

1,500

0

2,648

+1,357
売上高増加

▲879
売上高増加による
売上原価の増加
▲88
売上原価率の悪化
▲968 売上原価の増加
(売上原価率は0.2pt増)

▲49
販管費増加
(販管費率は0.9pt減)

2,988

2024年12月期

2025年12月期

セグメント・製品区分別 売上高

単位：百万円

**前年同期比増収：家庭用 鍋物調味料群、野菜まわり調味料群、その他群、
業務用 スープ群、その他群**

前年同期比減収：家庭用・業務用 肉まわり調味料群、物流事業、その他

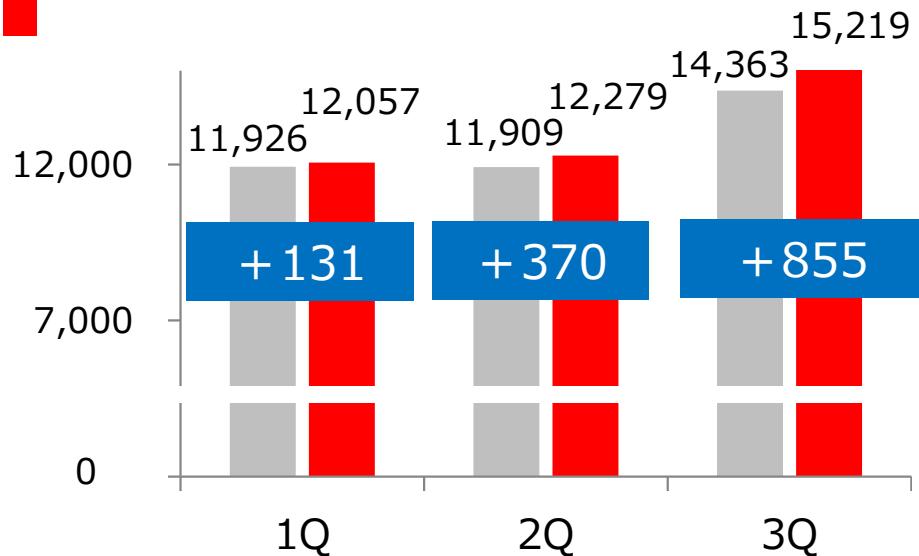
事業名称及び商品群名	連結会計期間 (2024年4月 ~2024年12月)	連結会計期間 (2025年4月 ~2025年12月)	増減	増減率
食品事業	32,322	33,855	1,533	4.7%
家庭用商品	23,736	25,011	1,275	5.4%
肉まわり調味料群	9,685	9,521	▲164	▲1.7%
鍋物調味料群	9,094	9,923	829	9.1%
野菜まわり調味料群	2,212	2,274	62	2.8%
その他群	2,744	3,291	547	19.9%
業務用商品	8,585	8,843	258	3.0%
肉まわり調味料群	2,600	2,554	▲45	▲1.7%
スープ群	2,640	2,843	202	7.7%
その他群	3,344	3,444	100	3.0%
物流事業	5,377	5,219	▲157	▲2.9%
その他	499	481	▲17	▲3.5%
合計	38,198	39,556	1,357	3.6%

セグメント・製品区分別 売上高

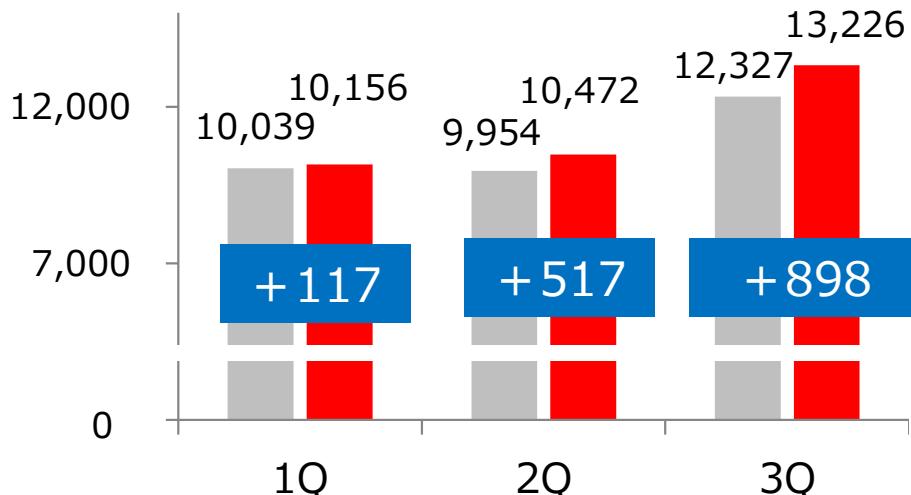
単位：百万円

左：前期 右：当期

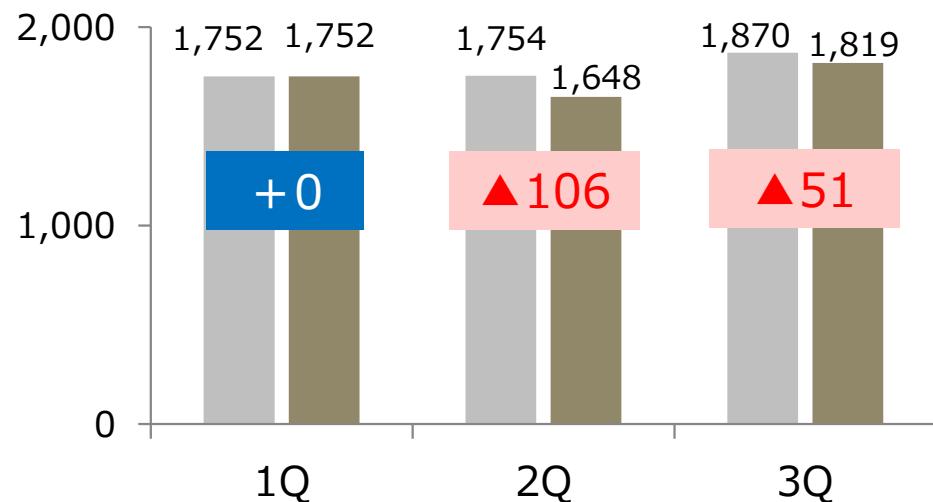
全体



食品事業



物流事業

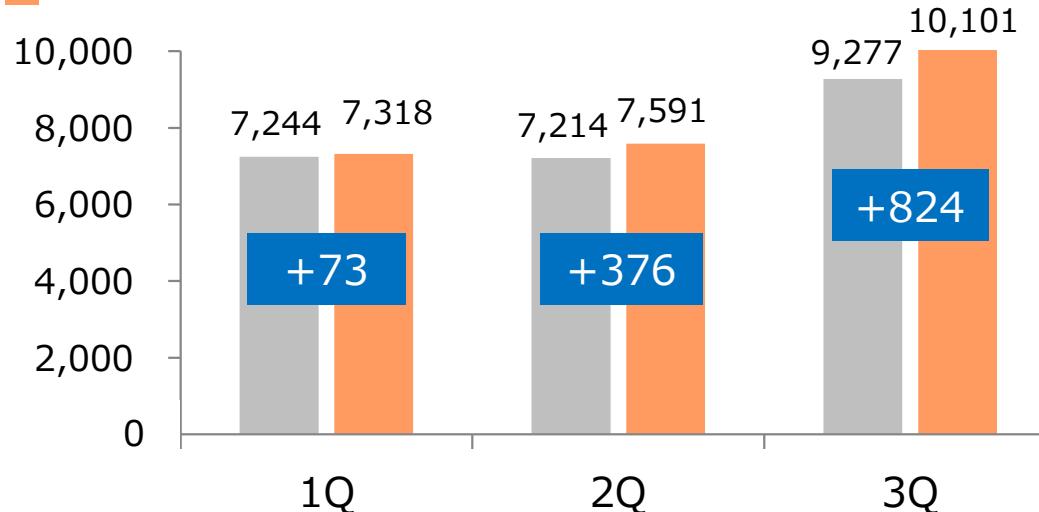


セグメント・製品区分別 売上高

単位：百万円

左：前期 右：当期

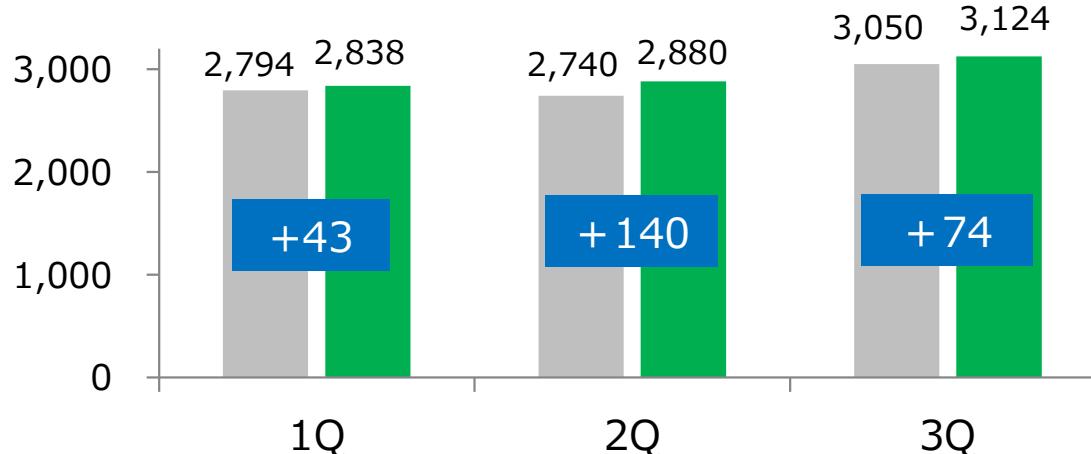
食品事業（家庭用商品）



- ・鍋物調味料群が好調
- ・その他群は、『チキンと中華』が堅調に推移

	1Q	2Q	3Q	合計
肉まわり調味料群	▲114	+83	▲133	▲164
鍋物調味料群	+63	▲10	+776	+829
野菜まわり調味料群	▲19	+44	+38	+62
その他群	+144	+260	+142	+547

食品事業（業務用商品）



- ・外食産業の堅調さの影響
- ・海外事業の增收が寄与

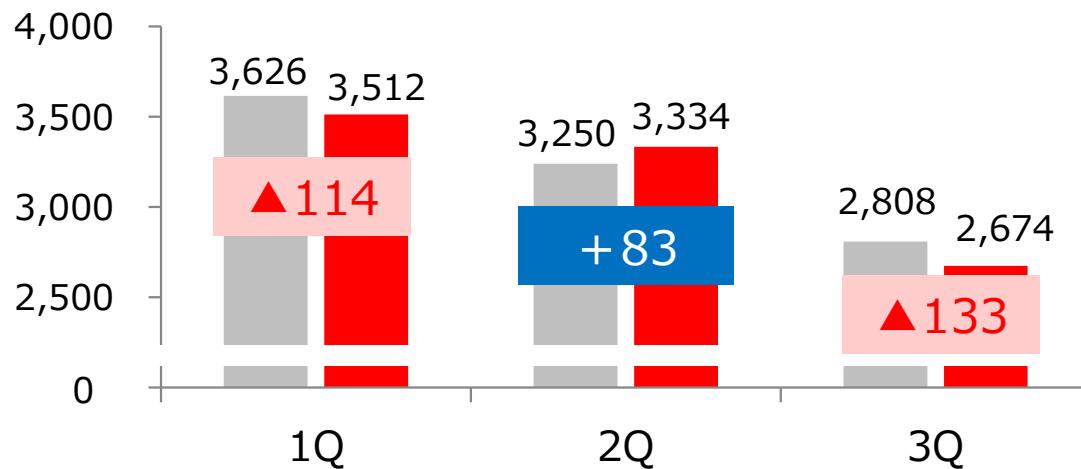
	1Q	2Q	3Q	合計
肉まわり調味料群	▲10	▲10	▲25	▲45
スープ群	+70	+80	+52	+202
その他群	▲16	+69	+47	+100

セグメント・製品区分別 売上高

単位：百万円
左：前期 右：当期

食品事業（家庭用商品）

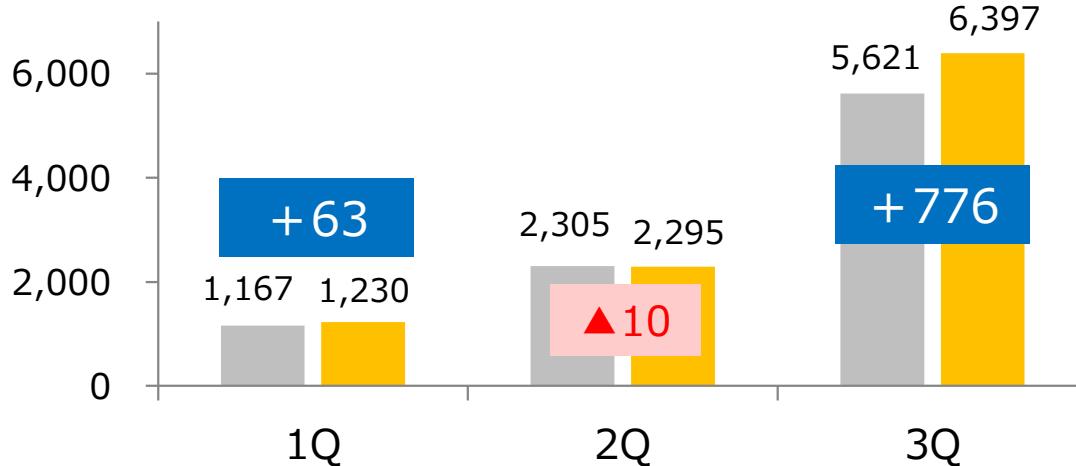
● 肉まわり調味料群



- ・『黄金の味』が精肉価格高止まりや2Q価格改定の影響により、減収



● 鍋物調味料群



- ・『チキン鍋』は、販売施策が奏功し増収
- ・『なべしゃぶ』は、商品リニューアルが奏功し増収

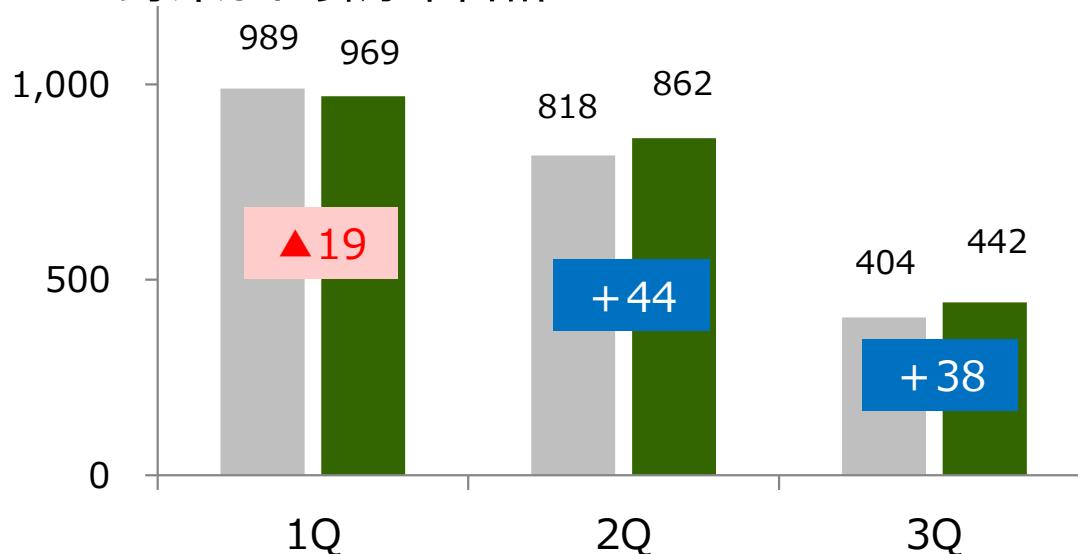


セグメント・製品区分別 売上高

単位：百万円
左：前期 右：当期

食品事業（家庭用商品）

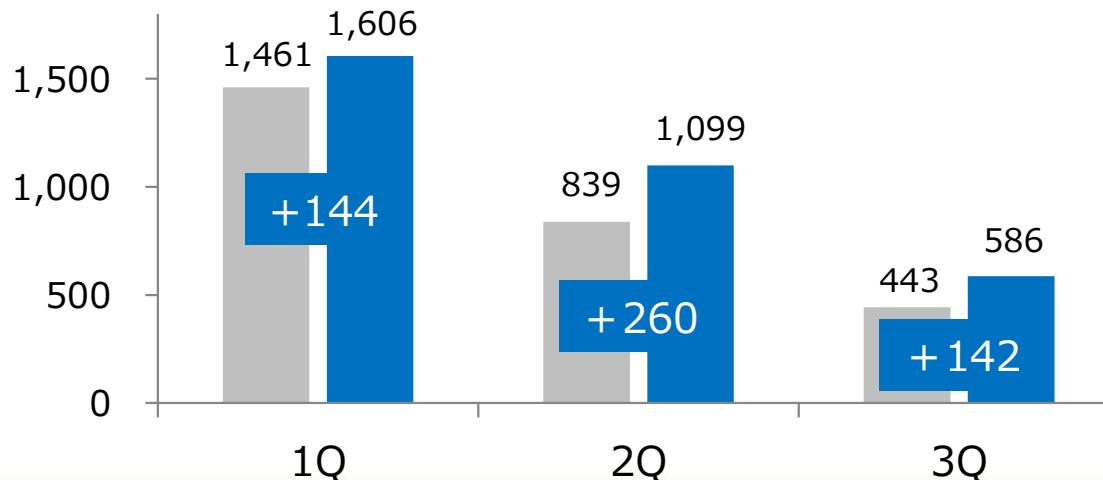
● 野菜まわり調味料群



- ・野菜価格の安定により『浅漬けの素』の販売が堅調



● その他群



- ・『チリと中華』の販売が堅調
- ・『横濱舶来亭 カレーフレーク 芳醇な甘口』の販売が伸長



[参考資料] 会社概要

商 号	エバラ食品工業株式会社
本店所在地	横浜市西区みなとみらい四丁目4番5号
代 表 者	代表取締役社長 森村 剛士
事業内容	調味料食品の製造販売
資 本 金	13億8,713万円
設 立	1958年（昭和33年）5月
従業員数	【連結】870名 【単体】516名 （2025年3月末時点）
連結子会社	株式会社 エバラビジネス・マネジメント 株式会社 横浜エージェンシー & コミュニケーションズ 株式会社 エバラ物流 株式会社 エバラフーズ・サービス 丸二株式会社 EBARA SINGAPORE PTE. LTD. 荏原食品（上海）有限公司 荏原食品香港有限公司 台灣荏原食品股份有限公司 EBARA FOODS (THAILAND) CO., LTD. EBARA FOODS MALAYSIA SDN. BHD.
持分法適用会社	株式会社スギショーテクニカルフーズ

免責事項

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、実際の結果と異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- 主要市場における景気動向
- 為替動向、金利変動
- 資本市場の動向
- 価格競争の激化
- 調達環境の変化
- 提携、アライアンス、技術供与による競争関係の変化
- 公的規制、政策、税務に関するリスク
- 製品、サービスの欠陥や瑕疵に関するリスク
- 研究開発投資、設備投資、事業買収・事業再編等に関するリスク
- 自然災害や突発的事象発生のリスク
- 会計方針の変更

こころ、はずむ、おいしさ。



※ この資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記載は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

※ 本資料の金額は単位未満切捨て表示しております。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

- お問合せ先：広報IR部（TEL 045-226-0240）